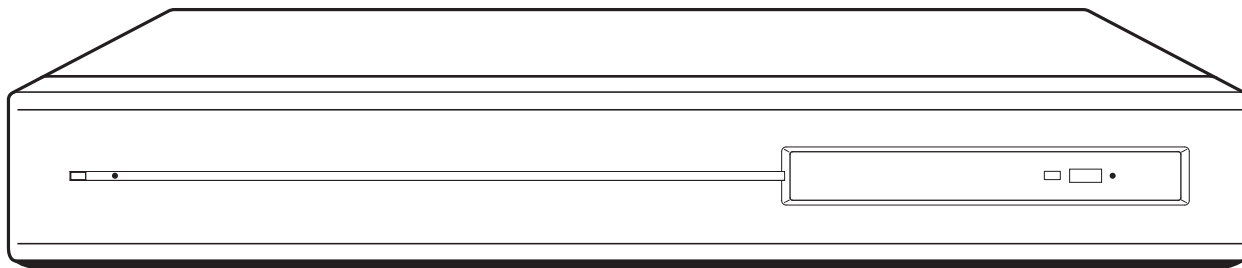
取扱説明書

DVDユニット
品番 VA-EXD1

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

●製造番号は、品質管理上、重要なものです。
●お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

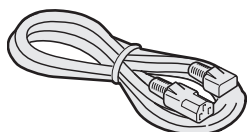
はじめに

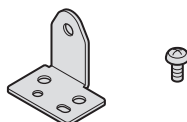
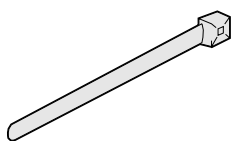
主な特長

■ **記録した映像を CD-R/RW、DVD+R/+RW に保存することができます。**

付属品

下記の部品が入っているか確かめてください。

電源コード

USB ケーブル

金具（1 個）
ネジ（3 本）

フィクサー（3 本）

取扱説明書

著作権について

- 本書およびソフトウェアは三洋電機株式会社の著作物です。
- 本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- 著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

目次

はじめに

使いかた

その他

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、指をはさまれないよう注意することを意味します。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■キャビネットのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

⚠警告

■ **煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない**

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、
お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを
コンセントから抜け

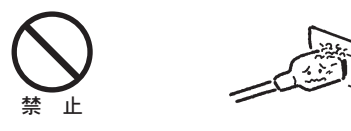
■ **電源コードを傷つけない**

●付属の電源コード以外は使用しないでください。
●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
（電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。）

禁　止

■ **電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない**

●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
（定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。）

禁　止

■ **電源コード接続時の注意**

●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
●電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。

禁　止

■ **キャビネットを外したり、改造しない**

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

分解禁止

■ **接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない**

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

禁　止

電源プラグを
コンセントから抜け

■ **ぬらさない**

ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。

水ぬれ禁止

水場での
使用禁止

■ **雷が鳴り出したら使わない**

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

接触禁止

■ **不安定な場所に置かない**

●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
（万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。）

禁　止

電源プラグを
コンセントから抜け

■ **電源電圧100V以外の電圧で使用しない**

火災、感電の原因となります。

禁　止

■ **国外では使用しない**

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

禁　止

⚠注意

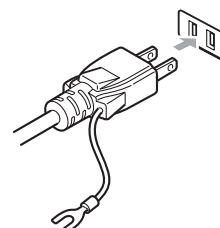
■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない**

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ **ぬれた手で電源プラグをさわらない**

感電の原因となることがあります。

■ **電源コードのアース端子**

電源コードのアース端子は、アナログ機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

■ **設置場所の注意**

●湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所には置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
●磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くには置かないでください。事故、故障の原因となることがあります。

■ **通風孔をふさがない**

専用ラック以外の風通しの悪い狭い所に入れたり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりして通風孔をふさがないでください。
また、壁や家具などに密接して置かないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

■ **上に乗らない**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ **コード類は正しく配線する**

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ **接続する機器の上に重いものを置かない**

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ **持ち運びの注意**

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外したことを確認のうえ、おこなってください。
電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。

■ **お手入れの際、長期間使用しない場合の注意**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ **内部の掃除について**

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

設置場所の注意

本機には、振動、衝撃を与えないでください。さらに、ほこりの多い場所での使用を避けてください。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 急激な温度変化（毎時 10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- 温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。　結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本機には通気孔がありますので、本機を設置する場合は、通気孔をふさがないでください。
- ラックに設置する場合は、左右 5cm、下 1cm 以上のスキマを開けてください。
- フロント部分はディスク交換時にトレイを引き出す空間を確保してください。書き込み終了時にトレイが飛び出します。
- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。

ディスクトレイに手を入れない

- けがの原因となることがあります。

本体を立てて使わない

- 本体を立てた状態にすると、本体が倒れ、けがや故障の原因になることがあります。また、動作保証しかねますので、本体は水平状態でご使用ください。

取り扱いについて

- 本機を持ち運びするときは、ディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

大切な記録の場合

- 必ず録画を行い、パソコンで正常に再生されることを確認してください。
- 本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により録画されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

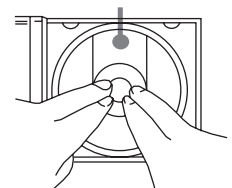
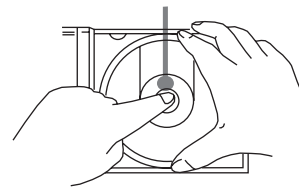
光メディアについて

- 光メディアは、ディスクの性能や保管環境によって、記録の劣化が進み、読みだすことができなくなることがあります。詳しくはディスクの説明書、またはご使用のディスクメーカーにお問い合わせください。

変形やひび割れしたディスクは使用しない

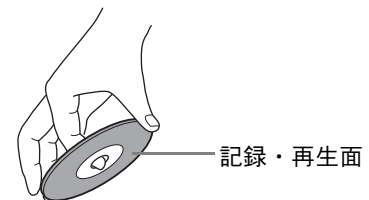
- 変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
  また、セロハンテープやディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

記録・再生面に触れないように持って出す。

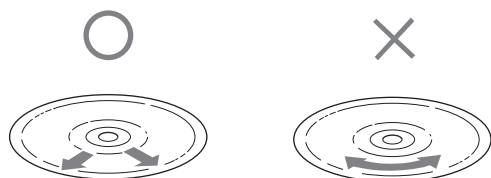
上から押さえて入れる。

ディスクの取り扱いについて

- 記録・再生面には手を触れないでください。
- 記録面の汚れたディスクに記録を行うと正常に書けなかったり、機器故障の原因にもなります。

ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や、温度や湿度の高い場所、ほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクの記録面（再生面）に指紋やほこりなどのよごれが付着していると、正常に記録できない場合があります。また、再生時に画像のみだれや音質・画像の劣化の原因になります。記録・再生前に、記録面（再生面）に付いたよごれを柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、きれいにしてからお使いください。

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

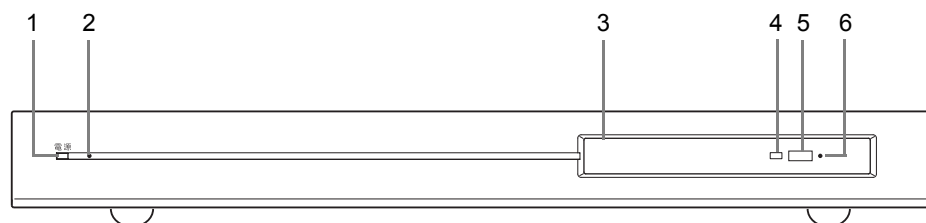
ディスクについてのご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
  またセロハンテープやディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。正常な記録ができなかったり、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

（特殊形状ディスクの例）

- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると記録・再生できないことがあります。
- ディスクのラベル面や記録・再生面に傷をつけないでください。
- ディスクを曲げたり反らせたりしないでください。
- ディスクに熱を加えないでください。
- ディスクの挿入中は、再生しなくてもディスクが回転しています。このため、もしディスクを入れた状態で本機に衝撃を加えると、ディスクが破損したり本機が故障する原因となりますのでご注意ください。本機を使用しないときは、ディスクを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2　各部の名称とはたらき

前面パネル

1.　電源ランプ
電源が投入されるとランプが点灯します。

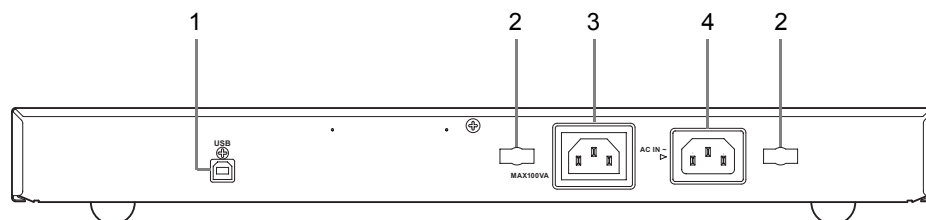
2.　マイコンリセットボタン
マイコンをリセットします。
DVD ユニットの動作がおかしくなった場合には、マイコンリセットボタンを 3 秒間以上押してください。

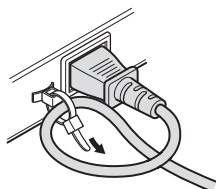
3.　ディスクトレイ
CD-R/RW、DVD+R/+RW ディスクを入れます。

4.　アクセスランプ
ディスクアクセス中に点灯します。

5.　イジェクトボタン
ディスクトレイが開きます。閉めるときは、ディスクトレイを手で押します。

6.　強制イジェクトボタン
強制的にディスクトレイが開きます。

後面パネル

1.　USB 端子
付属の USB ケーブルで、HDR と本機を接続するときに使用します。

2.　電源コードホルダー
付属のフィクサーで図のように電源コードホルダーに固定してください。

3.　電源出力ソケット
付属の電源コードで、HDR と本機を接続するときに使用します。HDR へ電源を供給します。（最大 100VA まで)

4.　電源入力ソケット
HDR に付属の電源コードで、本機とコンセントを接続するときに使用します。

1 HDRへの取付けと接続のしかた

設置業者の方が、取り付け作業を行ってください。
（一般ユーザーの方は、取り付け作業を行わないでください。）

取付けのしかた

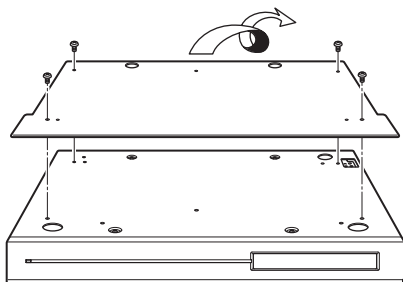
DVDユニットをHDRに取付ける方法について説明します。ドッキングさせて一体ユニットとして使用することができます。

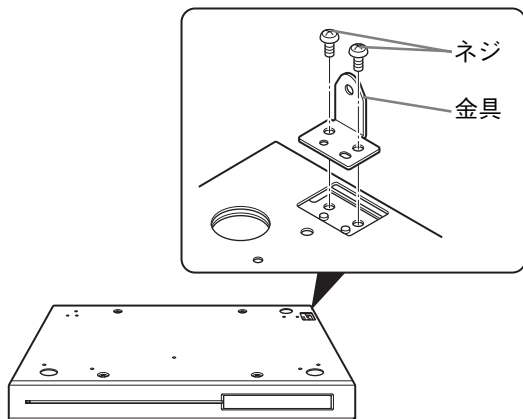
ご注意

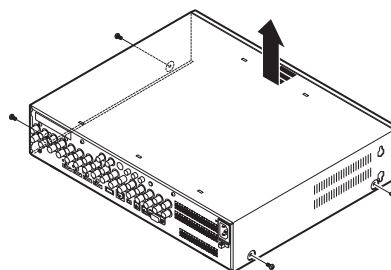
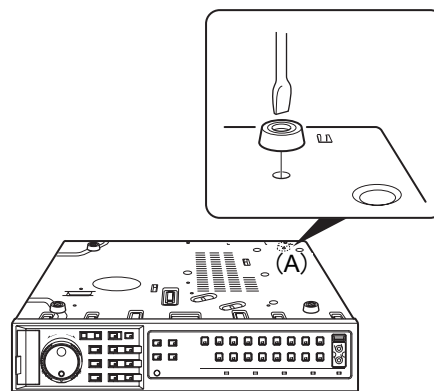
- この作業は必ずDVDユニットの電源を切った状態でおこなってください。

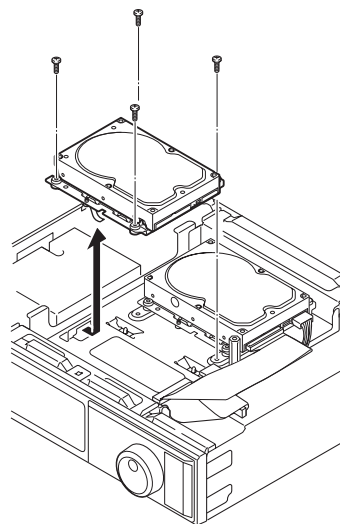
DVDユニットの準備をする

1 DVD ユニット上面のネジ 4 本を外し、カバーを取り外す

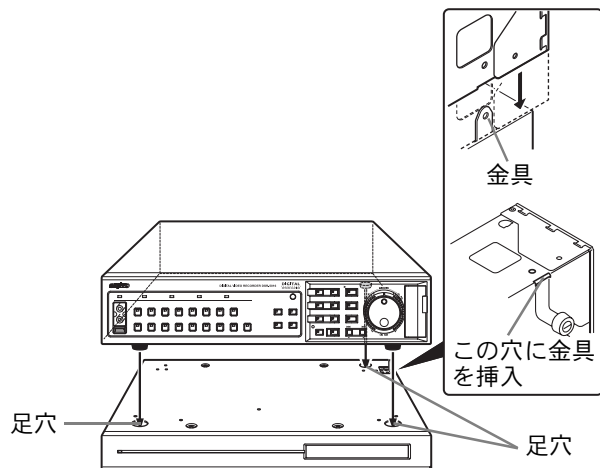
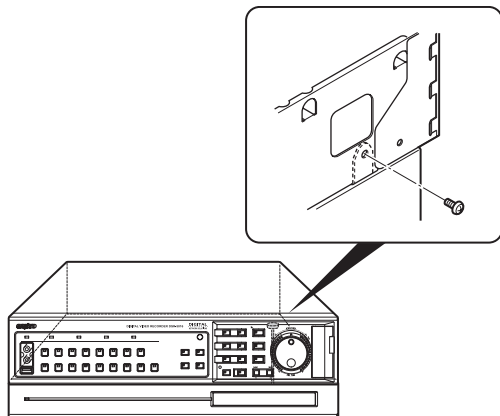
外したネジ4本は再度使用しますので、なくさないでください。

2 DVDユニットに付属の金具を、付属のネジ2本で取り付ける

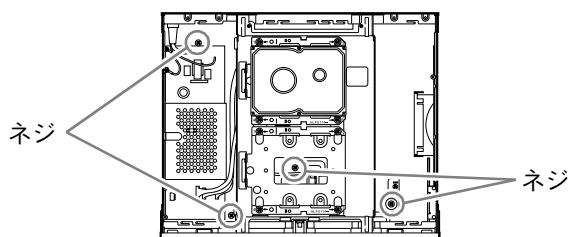
締め付けトルク：0.6 ～ 0.7N•m

HDRの準備をする

3 HDR側面のネジ4本を外し、カバーを取り外す

4 HDR底面を上にし、位置（A）にある足の中央部をマイナスドライバーで回して外す

メモ

- HDDがスレーブ側に搭載されている場合は、ネジ4本を外してHDDブロックを外します。

DVD ユニットを HDR に取付ける

5 DVD ユニットの上に HDR を置く

(1) HDR の足 3ヶ所を、DVD ユニット上面の足穴にはめ込みます。
このとき金具は、HDR 右側面底部の穴に挿入します。

(2) DVD ユニットに付属のネジで、金具を HDR 右側面に固定します。（1 ヶ所）
締め付けトルク：0.6 ～ 0.7N•m

6 手順1で外したネジ4本で、HDRの内側から HDR と DVD ユニットを固定する（4 ヶ所）

締め付けトルク：0.6 ～ 0.7N•m

メモ

- 手順4でHDDブロックを外した場合は、元通りに取付けます。
  締め付けトルク：0.6 ～ 0.7N•m

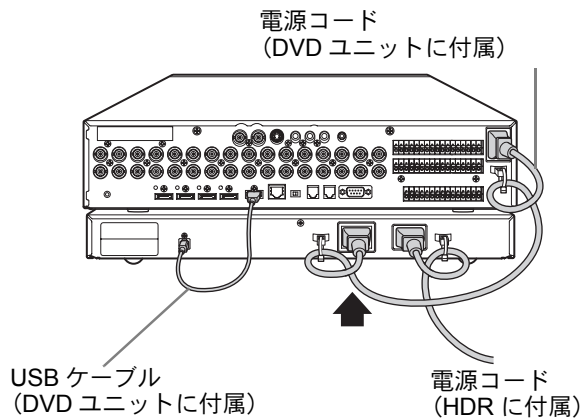
7 HDR にカバーを取付け、手順 4 で外したネジで固定する

締め付けトルク：0.6 ～ 0.7N•m

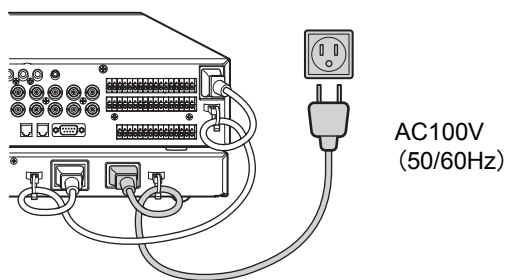
接続のしかた

DVDユニットをHDRに接続する方法について説明します。

1 USB ケーブル、電源コード 2 本を接続する

電源コードを電源コードホルダーに付属のフィクサーで固定する。（HDR：1ヶ所、DVD ユニット：2ヶ所）

丸型マークが見えなくなるまで電源コードを差し込んでください。
（電源ケーブルがぐらつかないように、しっかり奥まで差し込んでください。）

2 すべての接続が終わったら、AC100V を確認して、電源プラグをコンセントに差し込む

電源スイッチはありません。

CD-RW、DVD+RW のフォーマット

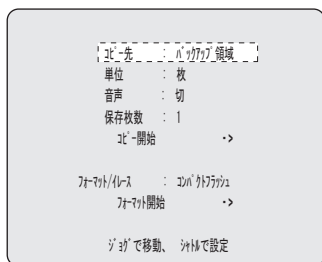
CD-RW、DVD+RW をフォーマットする方法について説明します。

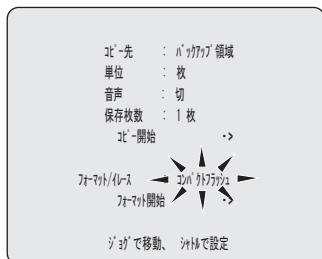
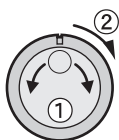
DVD ユニットを操作する

1 CD-RW、DVD+RW ディスクをディスクトレイにセットする

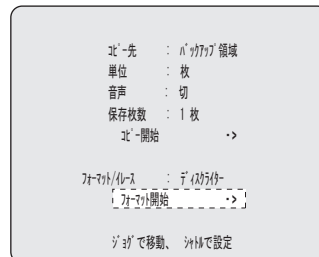
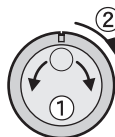
HDR を操作する

2 再生の1画面静止画状態から、[コピー]ボタンを押す

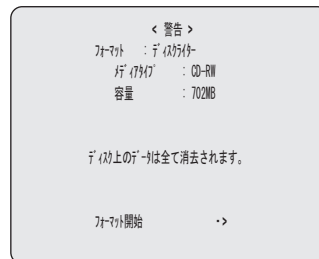
HDR のコピーランプが点灯し、コピー設定の画面が表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して“ﾌｫｰﾏｯﾄ/ｲﾚｰｽ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

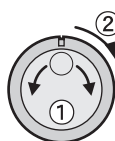
“ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭ” が点滅します。

4 ジョグダイヤルを回して“ディスクライター”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが“フォーマット開始”に移動します。

ご注意

- DVD ユニットを接続していないときは、“ﾃﾞｨｽｸﾗｲﾀｰ”を選択することはできません。

5 シャトルダイヤルを右に回す

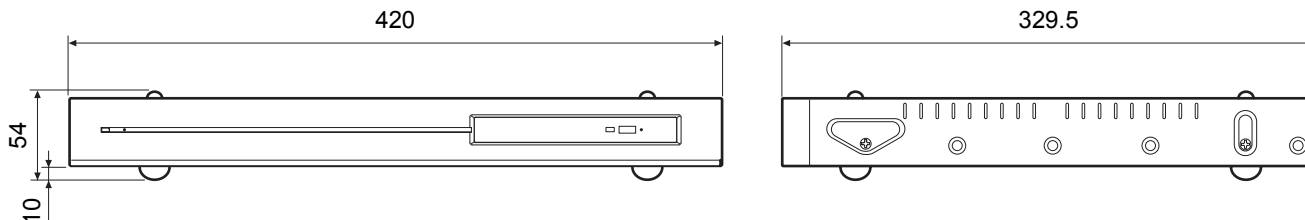
〈警告〉画面が表示されます。

6 ジョグダイヤルを回して“ﾌｫｰﾏｯﾄ開始”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

付録

仕様

品　名	DVD ユニット
品　番	VA-EXD1
ディスクドライブ	スリムタイプ
記録方式	ISO9660
対応メディア	DVD+R/+RW、CD-R/RW
端子	USB 端子（USB2.0、シリーズ A 端子）x 1
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	9 W
使用可能周囲温度	5 ～ 40 ℃
使用可能周囲湿度	10 ～ 80％（結露なき事）
外形寸法	420（W）x 54（H）x 329.5（D）mm
質　量	3.9 kg
付属品	電源コード x 1、USB ケーブル x 1、金具 x 1、ネジ x 3、フィクサー x 3、取扱説明書 x 1

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

寸法図

単位：mm

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により録画されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の保証についてはご容赦ください。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8 年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

(1) 故障の状況（できるだけくわしく）
(2) 品名と品番（DVD ユニット VA-EXD1）
(3) お買い上げ年月日（保証書に記入）
(4) 製造番号（保証書に記入）
(5) お名前、おところ、電話番号

修理相談窓口

受付時間　月曜日～金曜日　9：00～18：30
土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

三洋コンシューママーケティング株式会社

◆東コールセンター　東京　☎(03) 5302-3401
◆西コールセンター　大阪　☎(06) 4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客様は、下記の電話をご利用いただけます。

◆東コールセンターへの転送電話番号
- 北海道地区　札幌　☎(011) 833-7888
- 東北地区　仙台　☎(022) 382-2213
- 長野地区　長野　☎(0263) 26-1772
- 新潟地区　新潟　☎(025) 285-2451
- 福島地区　福島　☎(024) 945-6811

◆西コールセンターへの転送電話番号
- 北陸地区　金沢　☎(076) 237-6650
- 東海地区　名古屋　☎(052) 979-3456
- 中国地区　広島　☎(082) 293-9333
- 四国地区　高松　☎(087) 844-8321
- 九州地区　福岡　☎(092) 922-9311

◆沖縄地区　沖縄　☎(098) 944-5018
受付時間　月曜日～土曜日
(日曜日、祝日、および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　) －

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>
- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

三洋電機システムソリューションズ株式会社

システム事業ビジネスユニット　ビジネス東京営業部　CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3-22-5　☎ 東京　(03) 5803-3545

システム事業ビジネスユニット　ビジネス事業推進部　CCTV推進課
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東　(072) 870-6133

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　CCTVソリューションビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東　(072) 870-6277

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

1AC6P1P2933- -
L8HCC/JP (0905HS-SY)